

外来化学療法室

□外来化学療法室とは

外来化学療法室では、抗がん剤治療・生物学的製剤（リウマチなどの治療薬）などをおこなっています。患者さんに安心・安全に治療を受けていただくため、専門的な知識をもった看護師を配置し、主治医・化学療法内科医師および薬剤師と連携をとりながら治療を実施しています。



治療は予約制で、病床数は 20 床（リクライニングチェア 12 床、ベッド 8 床）、各ベッドにはテレビが設置してあります。待合室には、抗がん剤で生じる副作用や社会制度、リウマチに関するパンフレット等を用意してあります。



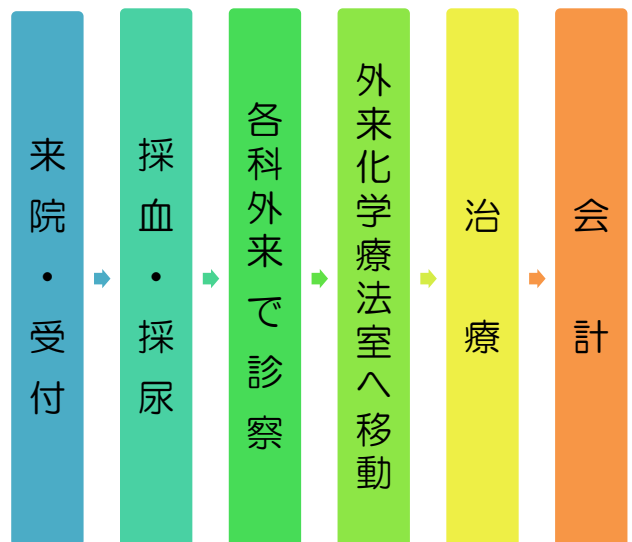
□治療までの流れ

主治医がその日の身体の状態、血液データ、診察結果を基に、同日の化学療法施行の可否を決定します。血液データの値が基準に満たない場合や体調に問題がある場合などは、主治医の判断により治療が延期・中止となる場合もあります。

治療可能と判断された場合は、外来化学療法室で受付していただきます。準備が整え次第、お部屋にご案内します。

主治医が治療可能と判断し、オーダーを発行した後、薬剤師は血液データを確認することで、安全に治療ができる体制を整えています。治療可能となった場合は、専用の安全キャビネットを用いて調剤を行います。薬剤は調剤され次第、外来化学療法室に運ばれ、治療が開始となります。

【来院から外来化学療法までの流れ】



2021 年 6 月作成